

一般質問

答えて市長！ 一般質問

一般質問とは、議員が広く自治体の事務一般を対象として、執行の状況、将来の方針を執行機関である市に問いただすものです。質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

今定例会では、12月12日(木)、13日(金)、16日(月)の3日間にわたり17名の議員が市政全般について、市の見解をたどしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、2月上旬となる予定です。



学校運営

林 美希



問 教職員不足による自習等はいつどの学校で起こってもおかしくない状況。子どもたちに不利益がないよう、現場教職員の方々に負担が偏ってしまわないよう、ご尽力を望むが見解は。

答 教職員不足についての9月議会で質問をいただき、議会を終え時を待たずに県教委へ要望に参った。市の非常に厳しい状況をお伝えし、県の様々な策について一つ一つ伺った。県も鋭意努力をしているところだが、いかにせん人がいないとのお答え。しかしながら、子どもたちのために譲ることができないというところまでお話をいただいた。市教委として学校と連携をし、あらゆる手段を使い非常勤教職員を充て、授業に穴が開かないように手立てを講じたところ。ご指摘のように、他校においても不足が生じており、また起こり得ることが十分に予測ができる。教職員たちが安心安全に勤務ができる環境づくりにおいては私も十分に責任を感じている。教職員たちが子どもたちの前に安心安全な気持ちで立ち、しっかりと学習が進められるよう、県の方には引き続き要望をし、我々ができることについては努力をしてみたい。

通学定期券補助について 「現時点では」考えはない

降旗 聡



問 若者への就学支援としてバス・鉄道の通学定期券の補助について。

答 市では、子どもの貧困に関する問題とその対策に県内でもいち早く取り組んできた。

平成30年度には「であう きづく つなぐ つながる未来プロジェクト」として、子どもの貧困対策推進計画を策定。現在、「子どもの学習支援」の推進を図っている。

また、「大学等受験チャレンジ応援事業」は、向上心を持ちながらも、経済的な理由で大学などの受験が困難な若者を応援するために、市と社会福祉協議会がタイアップして取り組みを開始した。この事業は社会福祉協議会が設けている「子ども未来応援基金」を原資として、市としても、子育て支援のためにという目的で寄せられた個人や法人からの寄付金のすべてを、そこに振り向けて取り組んでいる。

子どもの貧困対策における子ども達への個別的な支援については、社会福祉協議会の基金を活用して行っていきたいと考えているところであり、バス等の通学定期券への補助については、現時点では財源に限りがあり実施の考えはない。